

第3種郵便物認可

アイデア 堂に



産業まつりの発明くふう展で知事賞受賞作品の説明を受ける仲井真弘多県知事(奥) 23日、那覇市・県立武道館

県知事最優秀 クレイ沖縄

第38回県発明くふう展(主催・発明協会県支部、後援・県、協力・沖縄タイムス社)の審査会が22日、那覇市内であり、特許・実用新案の部・県知事賞最優秀賞に、クレイ沖縄の「泡盛もろみ液の粉末化法と泡盛もろみ液粉末」が選ばれた。液状で使いにくかったもろみ酢を乾燥粉末化したことで取り扱いを容易にしたことに加え、腐敗を防ぎ長期保存を可能にしたことなどが評価された。同展には特許・実用新案に22点、意匠に3点の応募があった。

もろみ酢を粉末化

発明くふう

入賞作や応募作は23日からの沖縄の産業まつり会場の県立武道館アリーナ棟などで展示されている。同展では24、25の両日、同所で親子ものづくり教室を開くほか、まつり期間中は知的財産活用サポート事業紹介などもある。25日午後5時から同所で表彰式も開かれる。

ほかの入賞作と受賞者は次の通り。(敬称略)

【特許・実用新案の部】県

知事賞優秀賞Ⅱ「換気口具」

(大城正裕)、「メタン発酵浄化装置」(吉元弘)▽発明協会県支部支部長賞Ⅱ「縦スリットつき空洞ブロックとその使用方法」(石川幹雄)、「煎り玄米飲料並びに粥状

製品とその製造方法」(炒り玄米湯一本舗トムト)、「カプセルサウナ用容器及びそれを用いたカプセルサウナ」(トリム)

食品など84点 推奨状を交付

前年度より2品増

優良県産品

2009年度県優良県産品推奨状交付式が23日、那覇市の県立武道館であった。14点から、飲食品46点、生活用品25点、楽器などその他の製品13点の計84点を選ば

れ、代表者に推奨状が手渡された。前年度に比べ2品増えた。

主な受賞は次の通り。

【最優秀優良県産品賞】「久米島の久米仙 球美18年」(久米島の久米仙)、「ペーパークラフト 進貢船」(ジグゼコミュニケーションズ)、「圧密三線 真壁型(琉球松使用)」(あけぼのファーム)【優秀新製品賞】「オリオンリッチ」(オリオンビール)【優秀デザイン賞】「風景織額装 石垣ブルー」(みね屋)【優秀アイデア賞】「しまとがらし入りシークワサーこししょう」(赤マルンウ)

初出展でスキルをPR

デザイン展

魅力的な商品づくりや販路拡大に向け、県内で活躍するデザイナーと生産者をつなぐ「県産品デザイナーズネットワーク協議会(D-net)」が初出展し、作品を発表しスキルをPRした。D-net展

には9社・個人が出展。衣類や酒、食器、企業ロゴなど室内インテリアなど、それぞれの実績アイテムを並べた。来場者も洗練されたデザインに関心を示していた。写真。建物のデザインを得意とする仁設計の宮里武志主宰は、自社設計の建物の写真を展示。エスエフ店など内装を重視

する企業などから相談を受けた。宮里主宰は「デザインの重要性の認識は着実に広がっている」と話す。一方、デザイン性を高めるには、一定のコストもかかるため、製造側との協業に結びつくのは難しいのが現状という。「金をかける部分ばかりの方が効果がある。効果的な